

シルバーハビリ体操指導士12名が
県知事賞などの感謝状を受賞

7月6日に真壁福祉センターで伝達式が行われ、桜川市シルバーハビリ体操指導士の体操指導士12名に県知事賞などの感謝状が贈られました。

今回の表彰では、永年にわたり地域住民の健康づくりや介護予防の普及活動に貢献したことが認められ、5名が県知事賞、1名が県保健福祉部長賞、6名が健康プラザ管理者賞を受賞しました。

シルバーハビリ体操は、高齢者が尊厳をもって生きいきと暮らしていけるよう考案され、高齢者の日常生活に必要な身体機能の保持や閉じこもり防止を図っています。

同会ではこれまでに、介護予防教室や生きいきサロンなど、ボランティアとして地域に密着した活動を行っており、市内の高齢者への介護予防に大いに貢献されています。



伝達式に出席した桜川市シルバーハビリ体操指導士会の皆さん

問合先／高齢福祉課（☎0296-73-4511直通）



農地パトロールを実施

6月26日から7月25日にかけて、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局が連携して、市内の農地に対して違反転用や無許可の農地改良、遊休農地の発生防止を目的とした農地パトロール（農地の利用状況調査）を行いました。

市内の農地面積は、5,170ヘクタールで、うち遊休農地面積は23ヘクタールと、全農地の0.4%となっております。年々増加する傾向にあります。

そのため、今年度からタブレット端末を導入し、農地パ



タブレットを活用し、効率的にパトロールを実施



農地パトロールを行い、遊休農地を確認

トロールの正確性の向上や効率化を図っています。

今後は、農地パトロールの結果を踏まえて、所有者に対して「利用意向調査」を実施します。

農業委員会では、引き続き農地パトロールを定期的に実施して、農地が適正に利用されているかどうか、監視を行ってまいります。

問合先／農業委員会事務局（☎58-5111・75-311代表）

寄付

寄贈

桜川市消防団（金子隆彦団長）から、スポーツ芸術文化の振興に役立ててほしいと、2万5,590円の寄付がありました。



大塚市長に寄付金を手渡す金子団長（右）



寄付

寄贈